

農作業特報

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

稲は順調に活着し、分けつが増えています。
梅雨入り前に溝切り・中干しを行い、稲体と根の健全化を図りましょう。

中干し前に遅れず溝切りを！

水がいつも溜まっている所（停滞水）
や乾きにくいところは重点的に！



掘った溝は、ほ場の周囲と中央の1本排水溝にしっかりつなぐ！は特にしっかり掘る

入排水が迅速に行え、中干しの効果を高め、生育後半の水管理がしやすくなります。



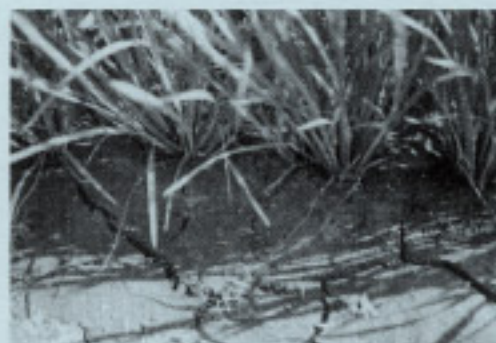
軽い田干しを行い、泥を落ち着かせてから溝を切るとしっかりした溝になります。

中干しは、6月10日頃から

莖数の多少に関わらず、本格的な梅雨入り前に実施しておきましょう。

出穂後20日間の湛水管理と収穫時のコンバイン作業のため、この時期にしっかりと中干しをしておくことがきわめて重要です。

「米づくりノート」に作業内容を
記録しましょう！



中干しの効果

- ①有害なガスを除去し、根の生育を健全にする
- ②過剰分けつの発生を抑える
- ③葉が立ち、稲体の姿勢が良くなる
- ④地耐力が増し、収穫作業がしやすくなる

【連絡先】

JAくろべ営農センター TEL 52-5615

JAくろしん牧野支店 TEL 54-0126

新川農林振興センター農業普及課 TEL 52-0945

JAくろべ南部支店経済センター TEL 54-5450

北部支店経済センター TEL 54-0040

東部支店経済センター TEL 65-7220

中干しの仕上がりのめやす

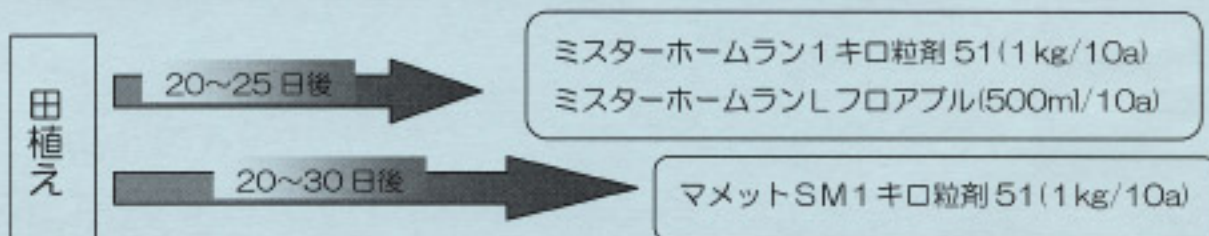
田面に1cmぐらいのひび割れが入り、足が沈まない程度

足跡が残る程度



- 茎数が多くなりやすいほ場や乾きにくいほ場
7～9日間を1～2回繰り返す。
強めに、田面に亀裂が入るまで
- 茎数が少なめなほ場や乾きやすいほ場
4～7日間、一度に強く干さない。
田面に小さな亀裂が入る程度まで

中期除草剤の使用法（初期除草剤との2回処理の場合）



- 注意事項
- ①散布前に軽い田干しをして、新しい水を入れてから散布
 - ②散布後は深水とし、散布後7日間は「止め水」とし、落水やかけ流しをしない。
 - ③「マメットSM」は、18℃以下の低温や30℃以上の高温では薬害が出やすくなります。散布は夕方に。

草が残った場合には（後期除草剤の使用法）

農薬は使用基準を守って使用し、栽培履歴をしっかりと記載しましょう！

- ヒエ** には、ヒエクリーン1キロ粒剤 1kg/10a
田植え後15日～ノビエ4葉期（田植え後35日まで）
5cm程度の深水にして散布、その後7日間は「止め水」とし、落水やかけ流しはしない
- 広葉雑草** には、バサグラン粒剤 3～4kg/10a
田植え後50日まで（クログワイは、田植え後35日まで）
落水して雑草を露出させ、晴天日を選んで散布する
その後3日間は水を入れない

エスアイ加里を施用しましょう！

根の活力を高め、下葉の枯れ上がりを防ぎます。

特に一発肥料を使用している場合は、基肥にリン酸とカリの量が少なくなっているため、必ず施用しましょう。

肥料名	施用時期	施用量
エスアイ加里	6月20日頃～	20kg/10a